

# 革新的研究開発推進プログラム (ImPACT)について

平成25年12月17日  
内閣府特命担当大臣(科学技術政策担当)  
山本 一太



総合科学技術会議

COUNCIL FOR SCIENCE AND TECHNOLOGY POLICY

# 革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)

実現すれば社会に変革をもたらす非連続イノベーション\*の新たな仕組み

\*積み上げではない技術の連続性がないイノベーション

例・ガソリン車 燃料電池車

平成25年度補正予算案に**550億円**を計上

「好循環実現のための経済対策」(平成25年12月5日閣議決定)の具体的施策に位置づけ

**PM**(プログラスマネージャー)が大胆な権限付与の下、プロデューサーとして**研究者**をキャスティングしつつ企画・実施。

PMは各関係機関の協力を得ながら幅広く広報し、2月頃に公募

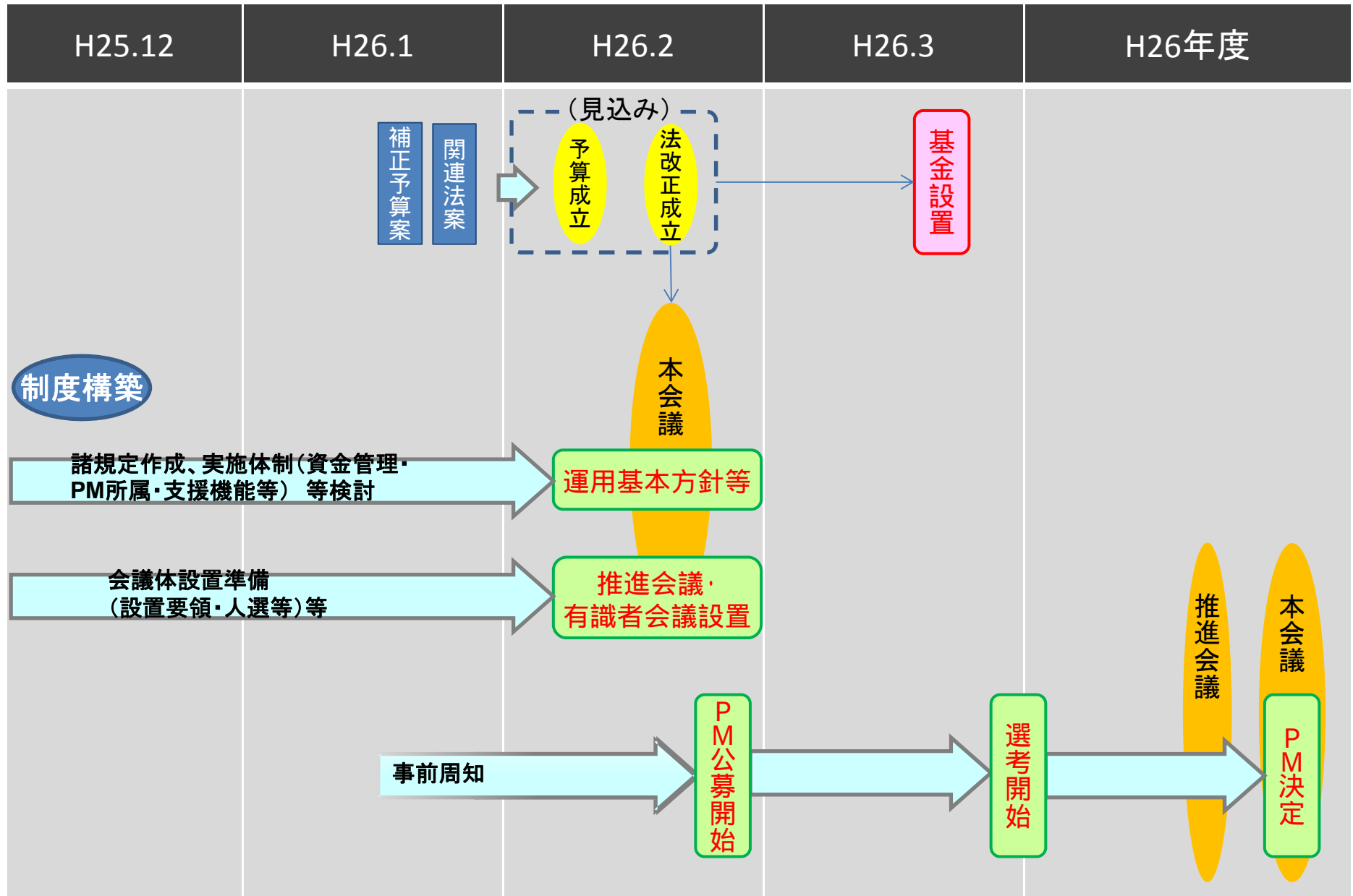
**基金**を設置

通常国会に基金を造成する法案を提出、3月中に基金を設置。

司令塔機能強化のための三本の矢

- ・ 予算戦略会議と科学技術重要施策アクションプラン
- ・ SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)
- ・ ImPACT(革新的研究開発推進プログラム)

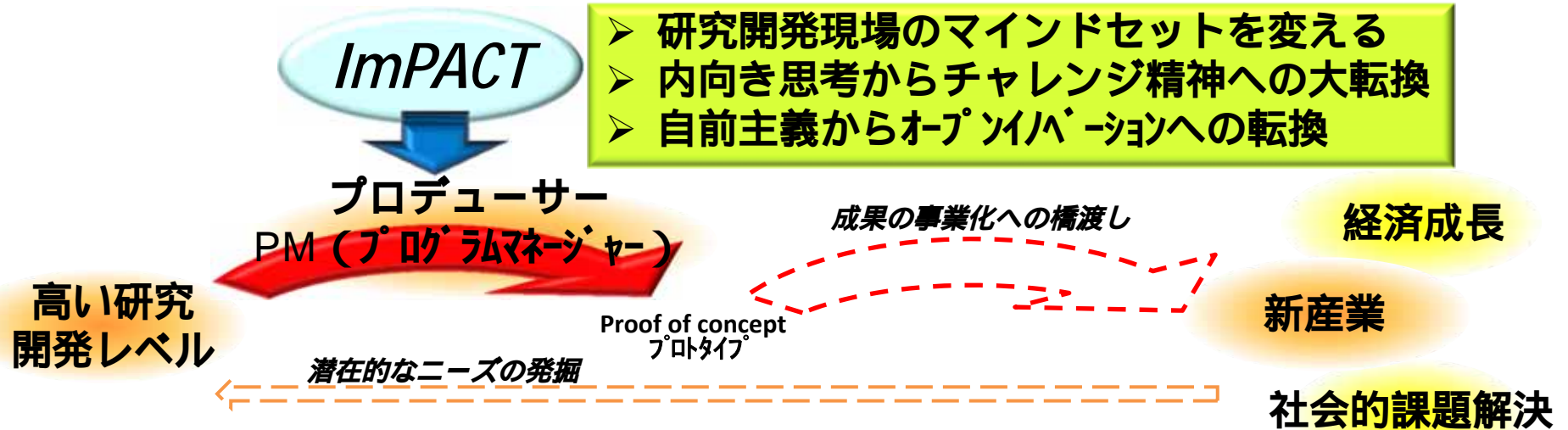
# 今後のスケジュール(予定)



# 参 考

# 革新的研究開発推進プログラム (ImPACT) の意義

(Impulsing **PA**radigm **C**hange through disruptive **T**echnologies)

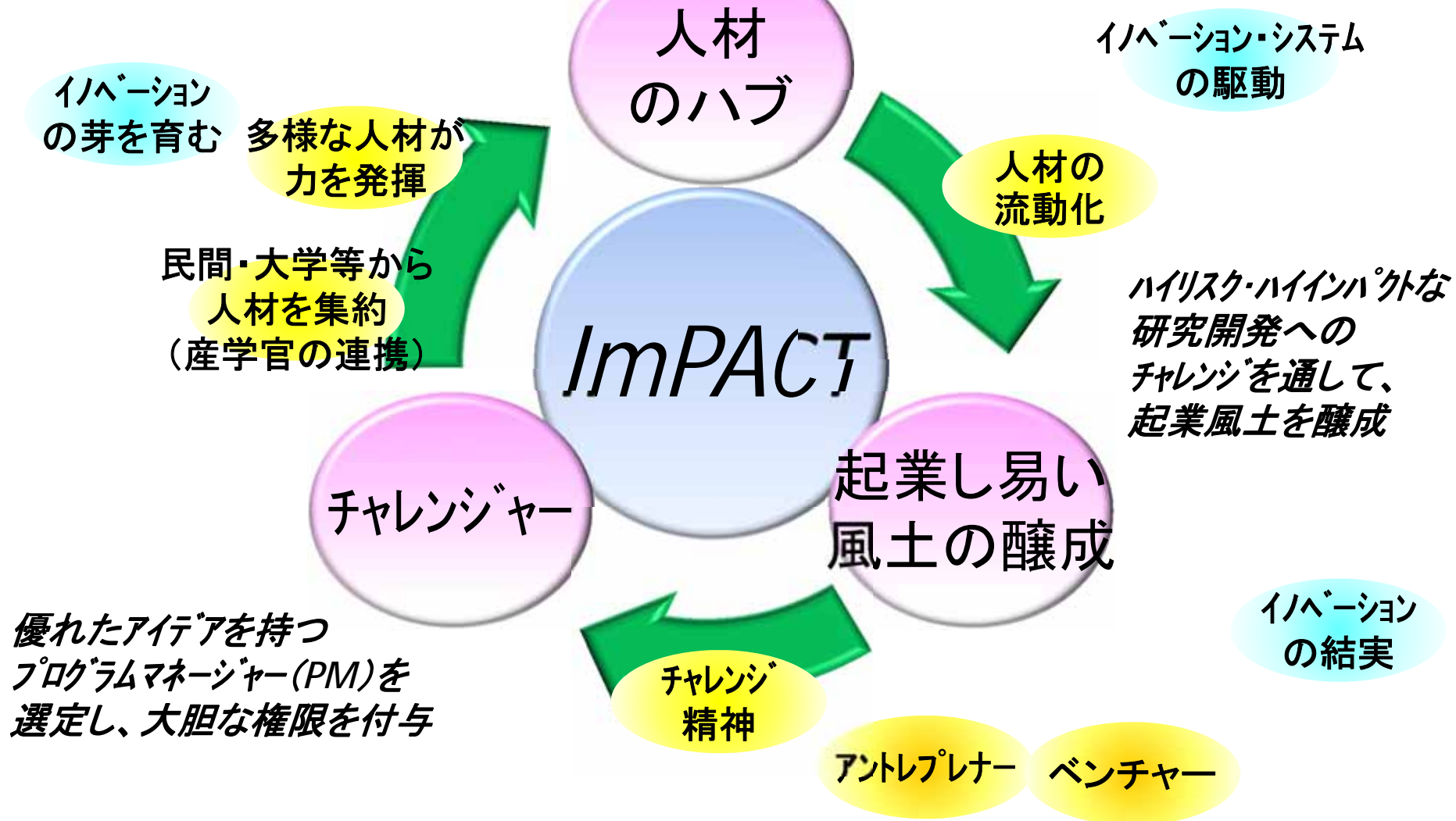


ImPACTは、我が国の高いレベルの研究力を、魔の川・死の谷を超え、新しい産業に結び付けるために必要な試み。

# 起業・創業の精神に満ち溢れた国へ

## ～ImPACTの力～

我が国の優秀な研究者を  
PMの下に集め、力を発揮





## 1. プログラムの概念、スキーム

- ・先端研究開発の成果を産業や社会の変革につなげていくため、研究開発のデザイン力・マネジメント力と、我が国のトップレベルの研究開発力とを結集し、革新的な研究開発を強力に推進する。
- ・米国DARPAのモデルを参考に、実現すれば産業や社会のあり方に大きな変革をもたらす革新的な科学技術イノベーションの創出を目指し、ハイリスク・ハイインパクトな挑戦的研究開発を推進する。
- ・総合科学技術会議(CSTP)が設定したテーマに対し、プログラム・マネージャー(PM)を厳選し、研究開発の企画から遂行、管理に至るまで大胆な権限をPMに付与して目標達成を求める。

## 2. テーマ設定

次の観点から“ハイリスク・ハイインパクト”なテーマをCSTPが決定

①非連続な変化でパラダイム転換をもたらす科学技術イノベーションによって、我が国の産業競争力を飛躍的に高め、豊かな国民生活に大きく貢献するもの

②我が国が直面する深刻な社会経済的課題に対し、従来の常識を覆す革新的な科学技術イノベーションによって、これを克服するもの

※国民の安全・安心に資する技術と産業技術の相互に転用可能なデュアルユース技術を視野に入れたテーマ設定も可能。

## 3. プログラム・マネージャー(PM)

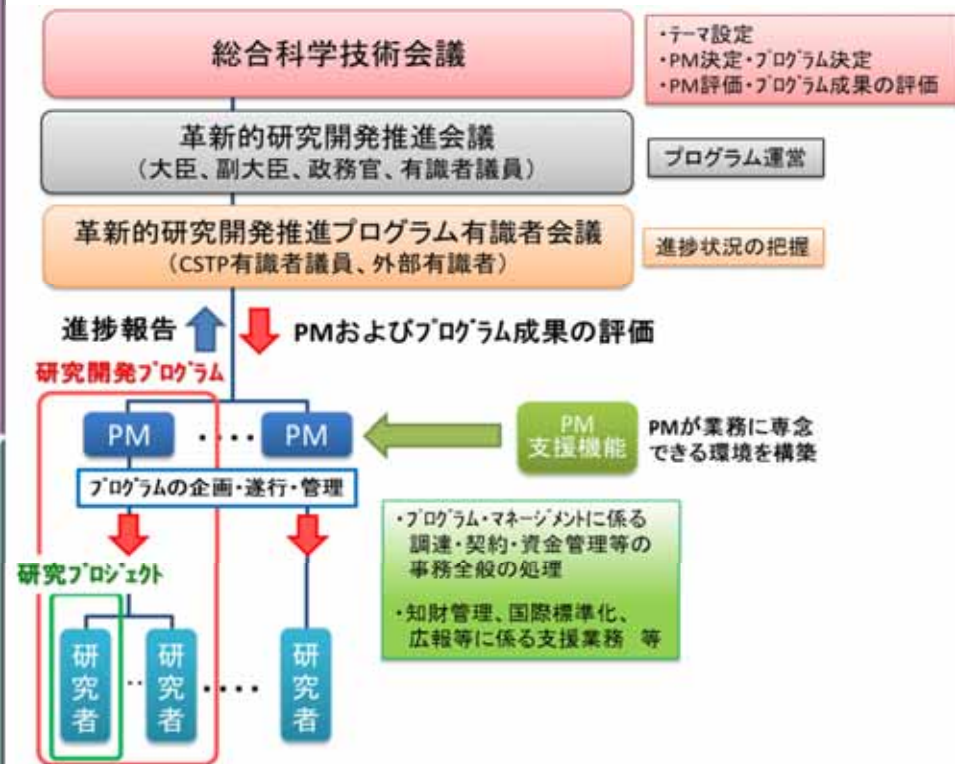
### ①役割と権限

- ・研究開発プログラムの企画・遂行・管理等、研究開発全体のマネジメント
- ・各研究者がおこなう研究プロジェクトの公募等と採択・遂行・管理等

### ②PMの決定方法

- ・CSTPがPMを公募し、提案内容・資質・実績等から決定

## 4. 体制と進捗管理・評価



予算計上先と資金の流れ、PMの身分・雇用等について更なる検討が必要なため、事項要求。今後、最先端研究開発支援推進会議で議論し、さらに具体化。